

5/18~19 西条地域春季市民芸術文化祭



42回目の開催を数える西条地域春季市民芸術文化祭。

芸能祭では、日舞や大正琴、民謡・三味線、三曲、器楽、コーラスの各部門に約400人の皆さんが熱演を披露し、また美術展には、書道や洋画、水墨画、日本画、陶芸、写真、押し花、生花、俳画、木彫、川柳の各部門に約230点の力作が出品されました。

会場の総合文化会館を訪れた人々は、洗練された舞台芸能や見事な展示美術・創作文芸作品の数々に、香り高い芸術文化を満喫していました。



もちろん出番なのではないでしょうか？



まちのわだい Camera Spot



5/18 さあ歩こう!ウォーキングで健康づくり講座



ウォーキングの有効性を説く寺尾教授



高地環境での運動効果などについて研究をされている、東海大学スポーツ医科学研究所長の寺尾保教授が、科学的根拠に基づきウォーキングの効果や身体への影響などを講演くださいました。

翌日に予定されていた「石鎚山系元気ウォーキング大会」は悪天候のため中止となりましたが、毎年この大会に参加している寺尾先生のお話に、受講した皆さんからは「ウォーキングを健康の維持や増進に大いに活用したい」などの声が聞かれました。

夏を前に水の事故を防ごう!



警察や消防職員により救助活動が実演されました



午前中の机上講習に続き午後には実際の救助法を訓練

園児たちを対象とした「子どもの水の事故防止教室」や、野外活動引率者などが参加した「水難事故防止河川救助講習会」が、水と触れ合うことの増える季節を前にして開催されました。

「きけん」と書かれた赤い旗のある所では遊ばないことや、万一の場合には大人に助けを求めるとなどを園児らは学び、また講習会を受講した皆さんは、救助道具の使い方やロープを用いた救助法などの習得に、真剣な表情で取り組んでいました。

5/20 東予港 早期整備の実現に向けて

東予港湾整備促進期成同盟会の総会が開催され、西条第1防波堤の早期完成や耐震強化岸壁の早期事業化など、当市の産業・経済の発展と市民生活の安全安心に必要な不可欠な東予港の早期整備について、国の理解を一層求めていくことを全会一致で確認しました。

総会に先立ち行われた講演会では、四国地方整備局の丸山次長から「最近の港湾行政の動向」として、地震災害に対する港湾整備の状況などに関する報告がなされました。



市の発展に不可欠な港湾整備

5/26 第13回 西条市 立て干し網 ~ 河原津海岸に大漁旗がひるがえる! ~

知事や市長など来賓の皆さんが見守るなか、開始宣言とともに打ち上げられた煙火を合図にして、約6千人もの来場者が一斉に遠浅の海岸を駆け出した、東予地域漁業協同組合連合協議会主催の「立て干し網」。

仕切られた網の内側では、放流されたハマチ30尾・タイ300尾・アジ15000尾が跳ね、それらの獲物を手にした人の歓声がそここで上がっていました。

波打ち際にもアサリ1700kgが放たれており、小さな子どもたちも砂遊び(?)というか潮干狩りを楽しんでいました。

また、砂浜に設けられた仮設プールでは、未就学児らがびしょ濡れになりながら、懸命にアジを追っていました。



父ちゃん、やったねえ大漁じゃねえ!



色のついたアサリでタイをゲット



中村県知事と青野市長